

第14回運営会議(2002.8.27開催)結果報告

庶務作成

開催日時: 2002年8月27日(火) 10:00~13:00

場所: ぱ・る・るプラザ京都 4階研修室1

参加者数: 委員6名、河川管理者2名

1 検討内容および決定事項

最終提言の作成方針について

内容について

- ・ 最終提言は、「河川整備に対する考え方」および「一般からの意見聴取・反映に関する考え方」を提言するものとする。個別事業の是非については言及しない。
- ・ 委員会の中間とりまとめを出発点として、各部会中間とりまとめ、河川管理者との意見交換、一般からのご意見、部会および委員会WGでの議論等を踏まえ、内容を修正、追加する。

とりまとめの主体、スケジュール

最終提言は運営会議メンバーおよび各委員会WGリーダーで構成される「最終提言作業部会」が主体となってとりまとめる。リーダーは今本委員(水需要管理WGリーダー)に要請する。

下記スケジュールを進める。

- ・ 9/12: 第14回委員会にて最終提言作成方針を確認
- ・ ~11月上旬: 最終提言作業部会(9/12委員会後、9/28、10/10、10/24)でとりまとめ案を検討する。並行して各部会における検討、とりまとめ案の全委員への照会をおこなう。なお、10/24開催を予定していた委員会は中止とする(作業部会開催に変更)。
- ・ 11/13または11/16: 委員会と3部会を合同開催し、全委員で最終案について議論
- ・ 12/5: 委員会にて最終提言を確定

WGについて

- ・ 第13回委員会にて設立が決定したダムWG、一般意見聴取WGのメンバーが確認された。
- ・ 水質に関して、「水需要管理WGの中だけでなく、総合的な検討が必要」との意見を受け、宗宮委員を中心にWGを設置する方向で検討することとなった。

今後の活動、運営について

- ・ 自治体に対する意見聴取については各部会それぞれの判断にまかせる。
- ・ 委員への謝金について、一部計算方法を変更(出席会議時間をもとに計算)する。また、委員会または部会、WGから、説明や意見発表等を目的として招聘した一般の方々には、交通費相当の謝礼をお支払いする。

このお知らせは委員の皆様に必要な決定事項などの会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。